

日本の鉄道史に残る「交流電化発祥の地」記念碑を JR 敦賀駅前に移設したい。

「交流電化発祥の地」記念碑を北陸新幹線が到着する JR 敦賀駅の西口(まちなみぐち)に設置するための工事費の資金を、クラウドファンディングを利用して集めます。ご協力お願いいたします。



「交流電化発祥の地」記念石碑



設置予定の JR 敦賀駅・西口



設置場所

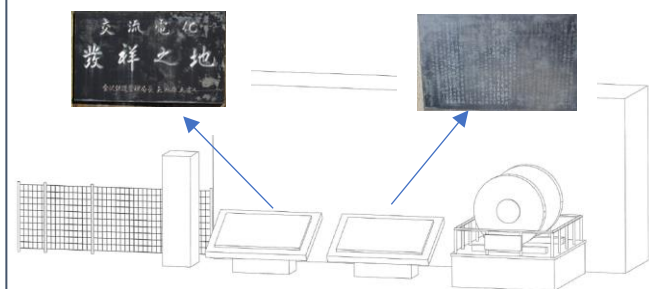
「交流電気」の里帰り

1952年(昭和27年)宮城県の仙台線で、交流電気による鉄道運行の実地試験がなされ、その優位性が明らかになったことを受け、1957年(昭和32年)に敦賀-米原(田村)間において交流電気での鉄道運行が始まりました。

「交流電化記念碑」は、ここ「敦賀」で世界最初の60サイクル交流電化による鉄道動力革命がおこったことを記念した石碑です。日本の新幹線が交流電気による運行であり、この時の成功が我が国の鉄道の発展に大きく寄与したことは間違いありません。そして2024年、交流電化発祥の地「敦賀」に北陸新幹線がやってきます。まさに「交流電気の里帰り」です。

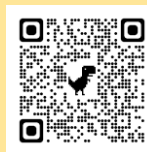
北陸新幹線敦賀開業を機に、当実行委員会の請願にお応えいただき、JR西日本様より石碑を譲り受け、現在、移転設置を準備中です。

交流電化記念碑 完成予想図



クラウドファンディングに挑戦します

第一目標金額：1,000,000円
(総工費2,100,000円のうち、設置工事費として使用させていただきます)



支援募集期間：

令和6年1月29日(月)予定～

令和6年2月29日(木)

リターン：

5,000円から100,000円までご用意させていただきました。よろしくお願ひいたします

<https://readyfor.jp/projects/koryudenkakinenhi2024>